

平成 23 年度 「新入社員 意識調査」

<ポイント>

極めて厳しい就職戦線を勝ち抜き、東日本大震災後まもなく入社した平成 23 年度の新入社員。

「働きたい業種・業界で会社を選び、友人の約束よりも仕事を優先し、定年まで勤めたい……」。といった新入社員像は昨年同様だった。

しかし、入社前の震災の影響からか、昨年の調査と比較すると“就職する・働く目的”では「収入を得ること」が 8.5ポイント減少した一方、「社会の一員として社会へ貢献するため」が 7.0ポイント増加する等、仕事を通じての社会貢献の意識が高まっている。また、“勤務・転職について”では「定年まで働きたい」が 11.6ポイント増加、“出世意欲”では女性の「平社員のままでいい」が 14.8ポイント減少し、「係長ぐらい」が 6.1ポイント、「課長・店長などリーダー職」が 7.2ポイントそれぞれ増加し、定年までの勤務や女性が上位職を目指す傾向等、経済的、社会的な安定を求める姿が表れた結果となった。

1. 会社を選んだ基準

「自分が働きたい業界・業種」が 70.0%と圧倒的に多く、次いで「会社・上司の雰囲気が良い」36.5%、「通勤に便利など立地条件」35.8%となった。

2. 働く目的

「収入を得ること」が 69.5%と多く、「自己の人間性の成長」が 53.1%、「社会の一員として社会へ貢献するため」が 40.3%となった。

3. 就職への不安

「仕事についていけるかどうか」が 73.7%、「上司や同僚など職場の人間関係」が 64.4%とともに多く、次いで「生活環境や習慣の変化に対応できるか」44.4%となった。

4. 勤務・転職等

「定年まで働きたい」が男性 67.9%、女性 45.5%と最も多かった。

5. 出世意欲

男性は、課長・店長等のリーダー職以上を目指す回答が 73.3%となった。

6. 仕事と友人の約束が重なる

「なるべく仕事を優先」「いつでも仕事を優先」合計で 78.8%となり、仕事優先派が多い。

<調査方法>

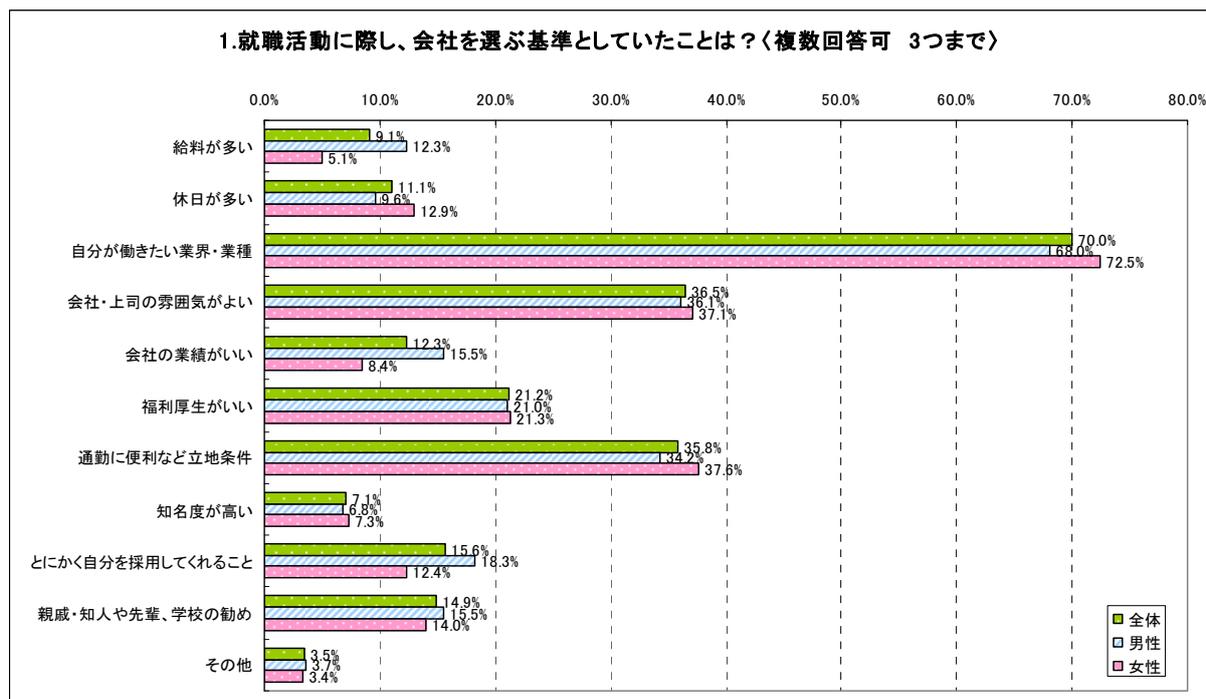
- (1) 調査期間 : 平成 23 年 4 月 4 日～4 月 26 日
- (2) 調査対象 : あしぎん新入社員セミナー受講生、新入社員向け出張研修受講生
(セミナー開催回数 栃木県 6 回、群馬県 1 回、埼玉県 1 回、出張研修 3 回)
- (3) 有効回答数 : 397 名 (回答率 99.5%)
内 訳 : 男性 219 名、女性 178 名

1. 就職活動に際し、会社を選ぶ基準としていたことは？

「自分が働きたい業界・業種」が70.0%と圧倒的に多く、次いで「会社・上司の雰囲気が良い」36.5%、「通勤に便利など立地条件」35.8%となった。会社選定の大前提としては、「興味ある業界・業種かどうか」がポイントのようだ。一方で、「給料」「休日」といった処遇面は比較的少なかった。

男女別では、「会社の業績がいい」「とにかく自分を採用してくれること」で男性の回答が目立った。

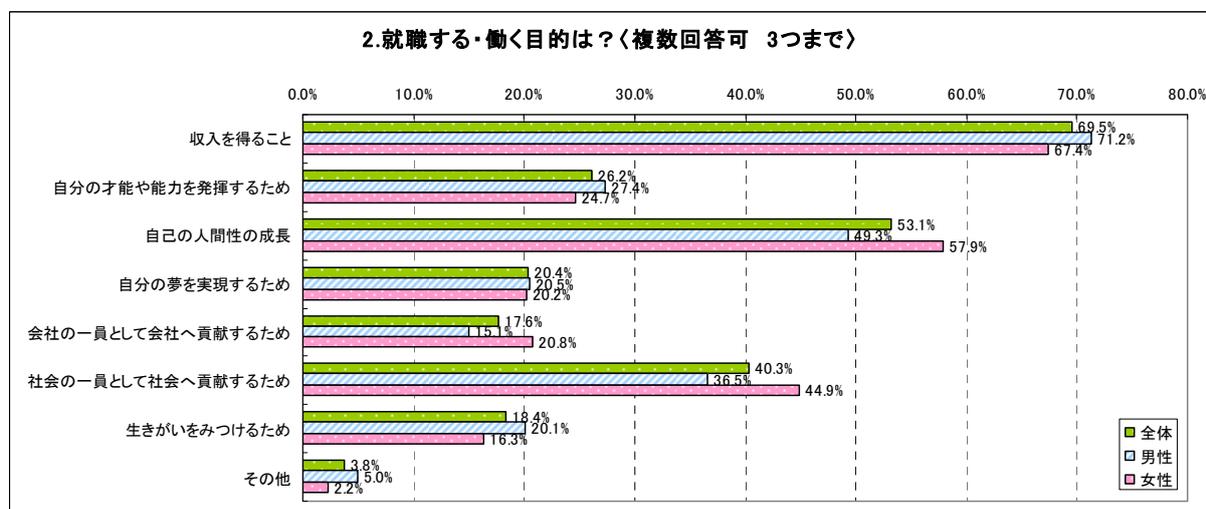
昨年と比較すると「給料が多い」が男女とも減少している。(別途 参考資料)



2. 就職する・働く目的は？

当然ながら「収入を得ること」が69.5%と最も多い。次いで多かったのは「自己の人間性の成長」53.1%、「社会の一員として社会へ貢献するため」40.3%となった。

昨年と比較すると「収入を得ること」が減少し、「社会へ貢献するため」が増加している。

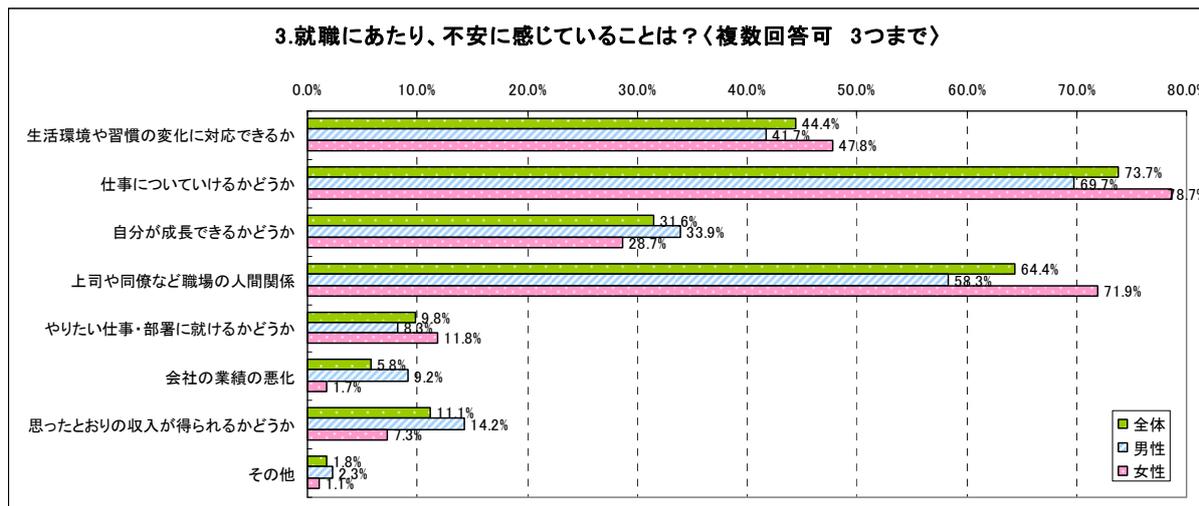


3. 就職にあたり、不安に感じていることは？

「仕事についていけるかどうか」が73.7%と最も多い。次いで多かったのは「上司や同僚など職場の人間関係」が64.4%、「生活環境や習慣の変化に対応できるか」44.4%となった。

男女別で差がみられたのは、「生活環境や習慣の変化に対応できるか」「仕事についていけるかどうか」「上司や同僚など職場の人間関係」が女性で多く、「自分が成長できるか」「思ったとおりの収入が得られるか」が男性で多い。

昨年と比較すると「仕事についていけるか」「自分が成長できるか」がそれぞれ増加している。



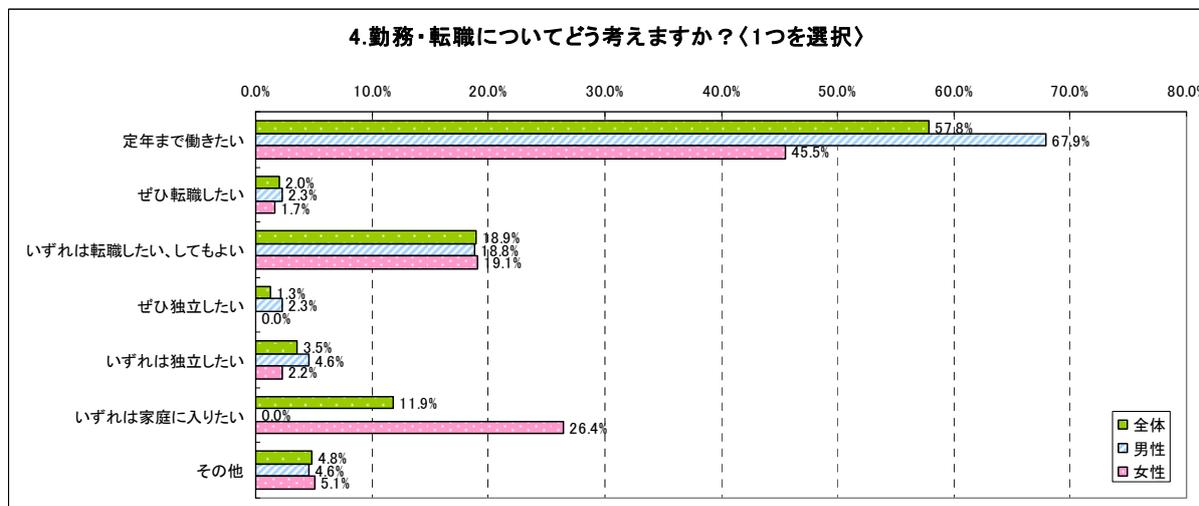
4. 勤務・転職等についてどう考えるか？

この項目では、男女の回答に大きな開きがみられた。

男性は、「定年まで働きたい」が67.9%と最も多く、次いで「いずれは転職したい、してもよい」18.8%、「いずれは独立したい」4.6%となった。

女性は、「定年まで働きたい」が45.5%と最も多かったが、次いで「いずれは家庭に入りたい」が26.4%、「いずれは転職したい、してもよい」19.1%となった。

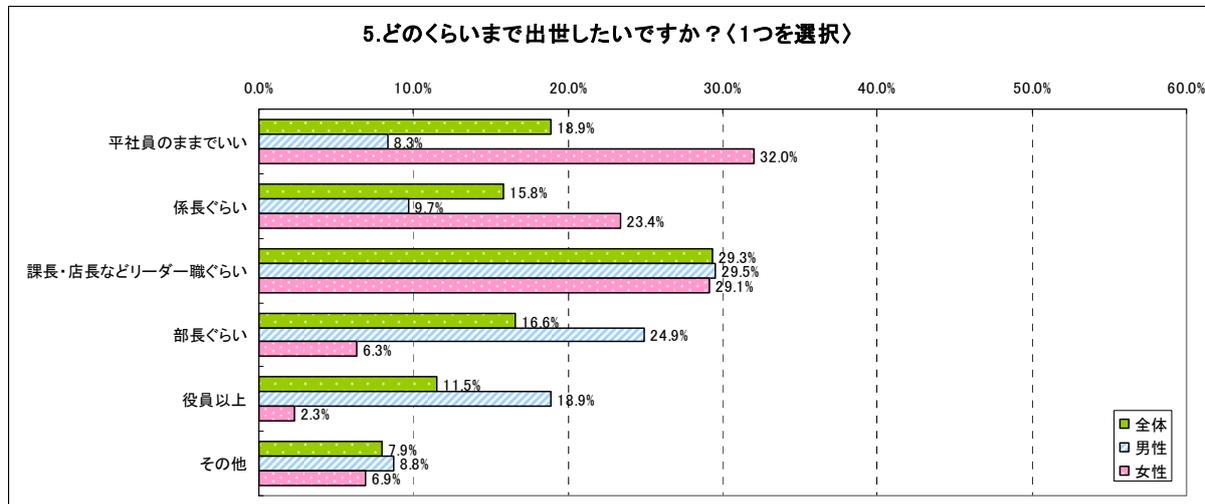
昨年と比較すると「定年まで働きたい」が大幅に増加し、「いずれは転職したい、してもよい」が大幅に減少している。



5. どのくらいまで出世したいか？

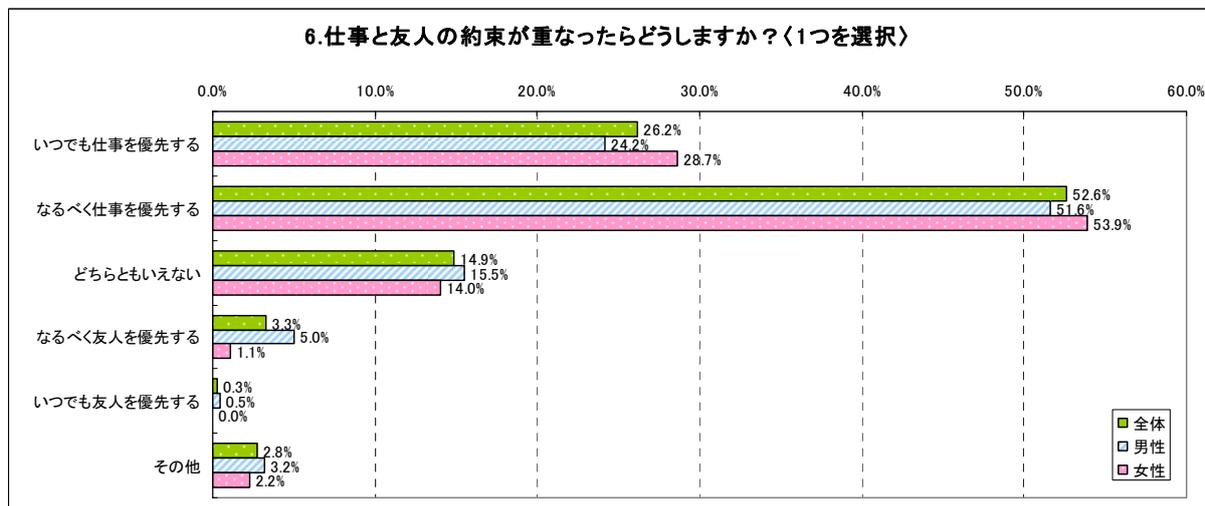
ここでも男女差がはっきりと表れた。より上席になるほど男性の回答が多く、課長・店長等のリーダー職以上を目指す回答が73.3%となった。女性は「平社員のままでいい」32.0%、「係長ぐらい」23.4%、「課長・店長などリーダー職」29.1%、回答がほぼ3分割された。

昨年は女性の2人にひとりが「平社員のままでいい」と回答していたが、ここでも昨年の調査結果と大きな違いが見られた。



6. 仕事（残業など）と友人の約束（食事や飲み会など）が重なったらどうするか？

「なるべく仕事を優先する」が52.6%と最も多いが、「いつでも仕事を優先する」も26.2%と回答が比較的多かった。合計すると78.8%となり、友人の約束よりも「仕事を優先」派が多いようだ。



7. あなたが今、興味のあるもの、関心の高いものは何か？

この項目では、男女の回答に大きな開きが見られた。

<男性>

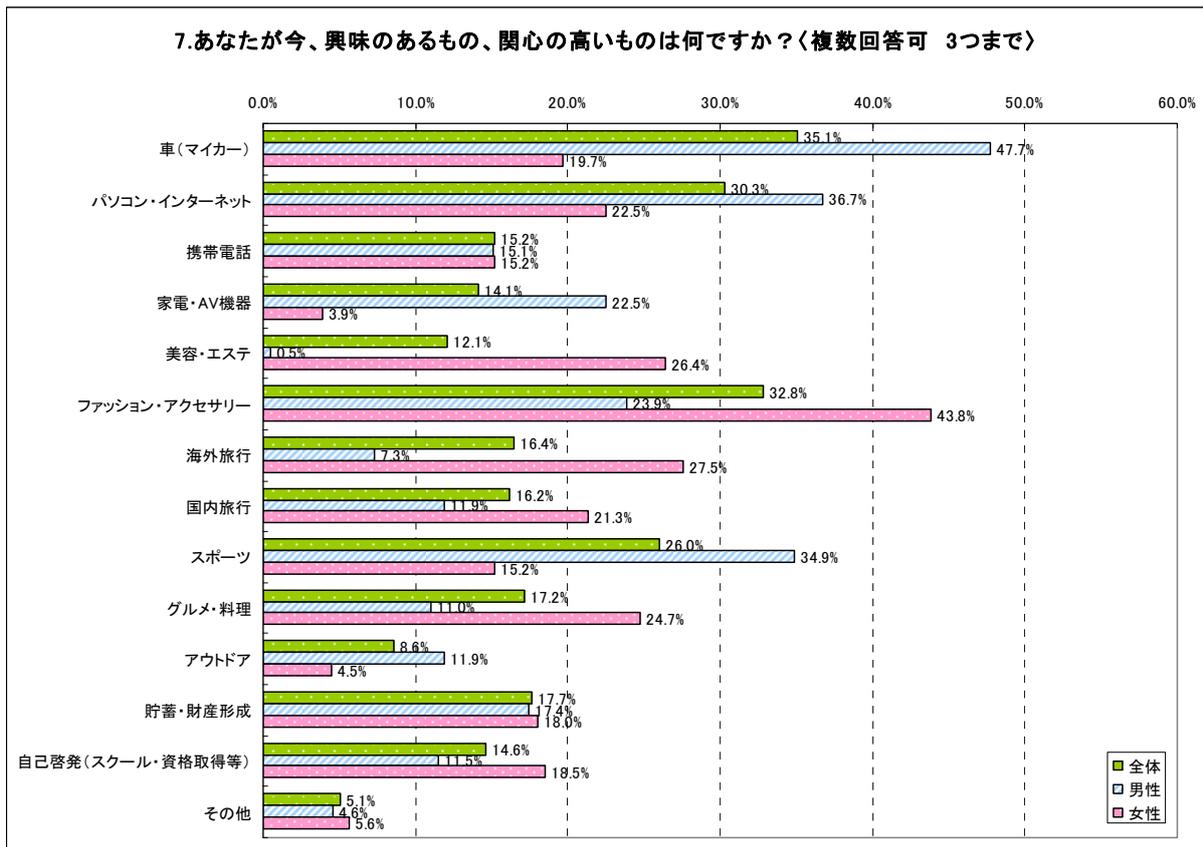
- ①車（マイカー） 47.7%
- ②パソコン・インターネット 36.7%
- ③スポーツ 34.9%
- ④ファッション・アクセサリ 23.9%
- ⑤家電・AV機器 22.5%

男性の2人に1人は「車（マイカー）」と回答している。自動車に関する関心が薄れていると言われているが、やはり北関東は自動車がないと不便な地域であるようだ。

<女性>

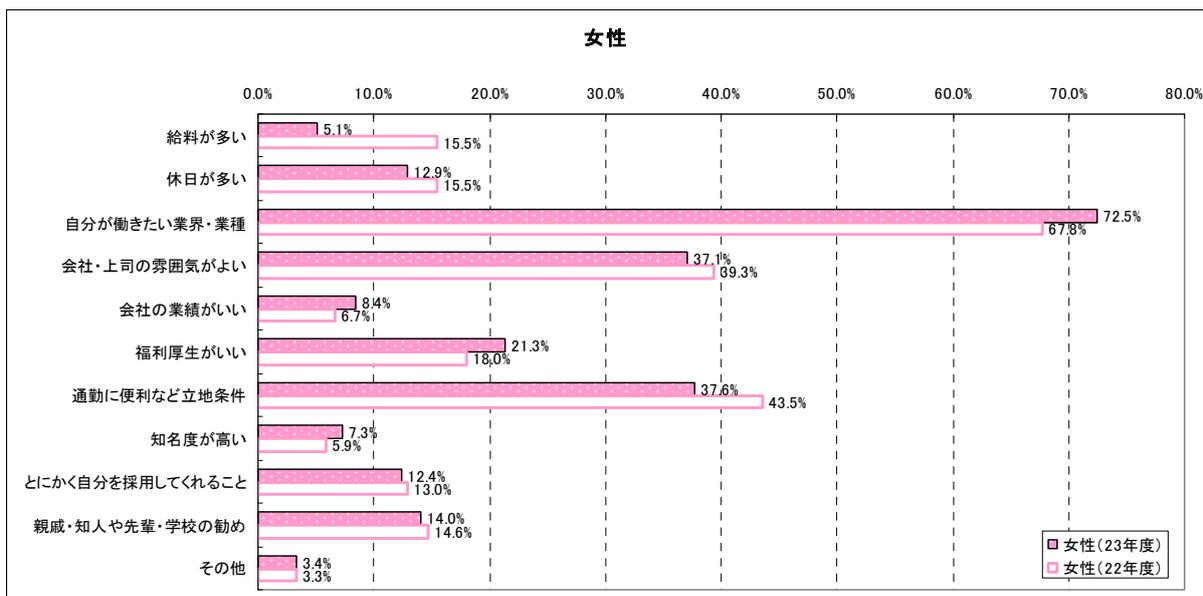
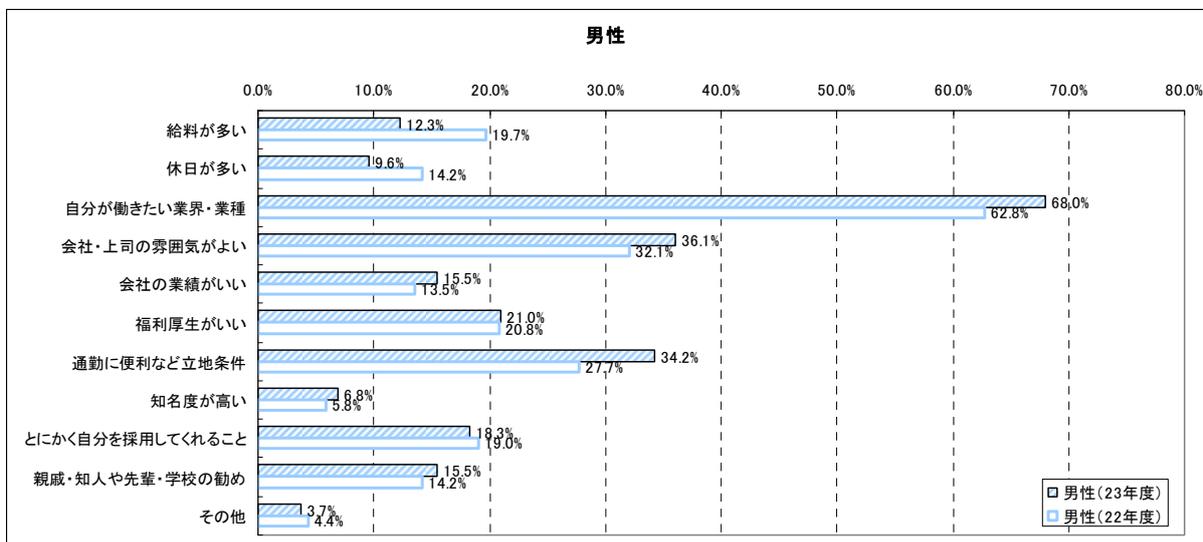
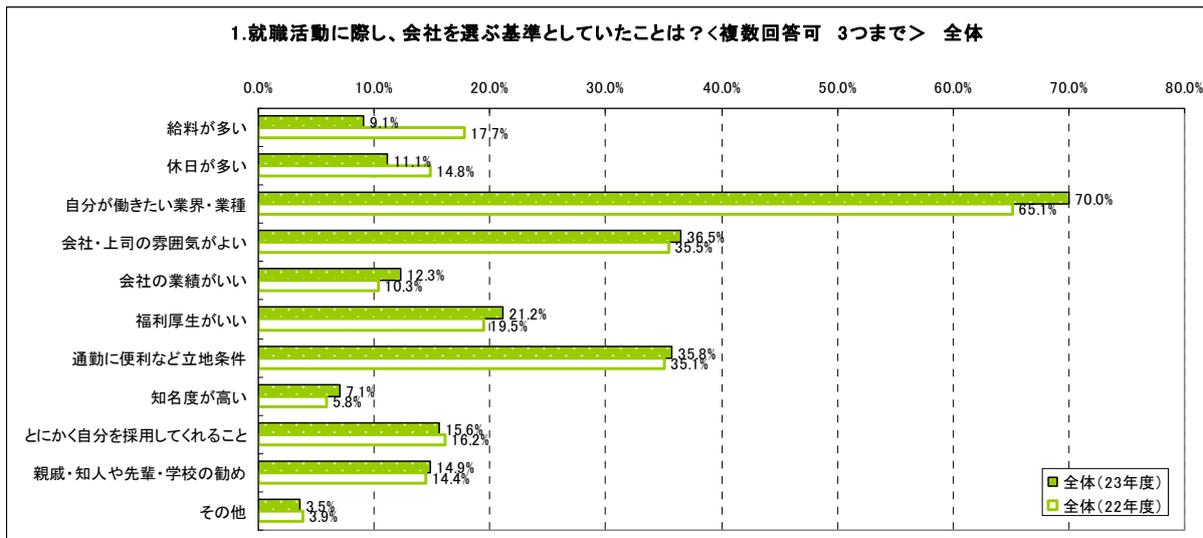
- ①ファッション・アクセサリ 43.8%
- ②海外旅行 27.5%
- ③美容・エステ 26.4%
- ④グルメ・料理 24.7%
- ⑤パソコン・インターネット 22.5%

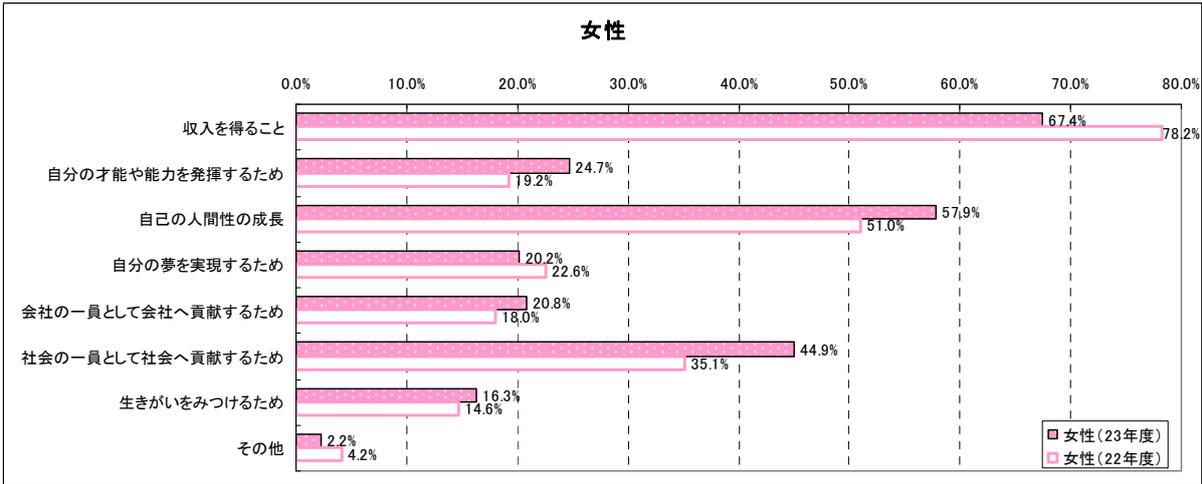
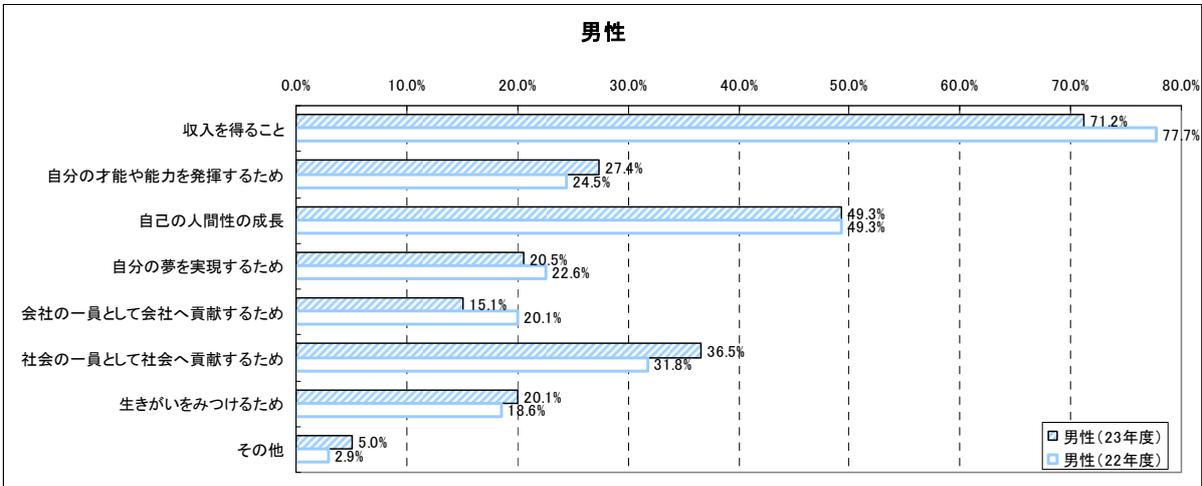
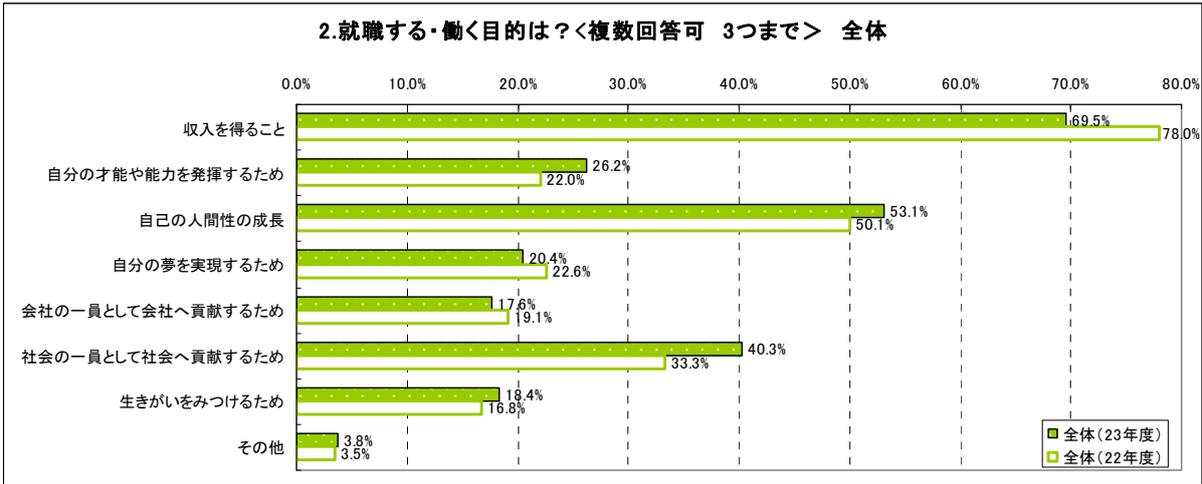
女性は圧倒的に「ファッション・アクセサリ」が多かった。



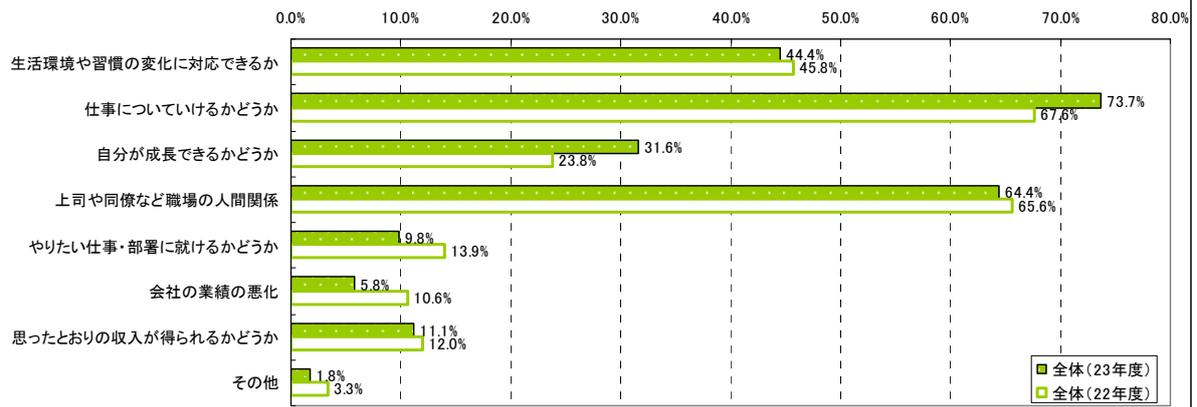
以上

＜参考資料＞ 前回調査との比較

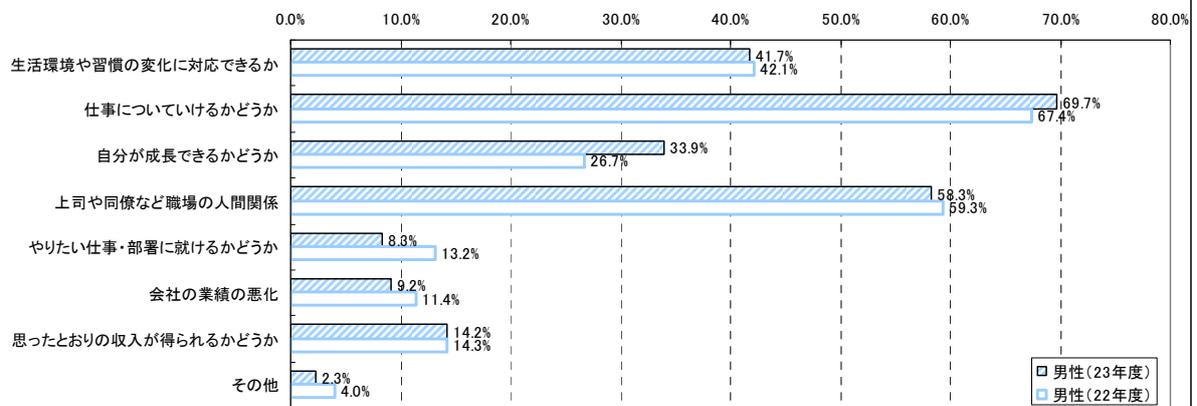




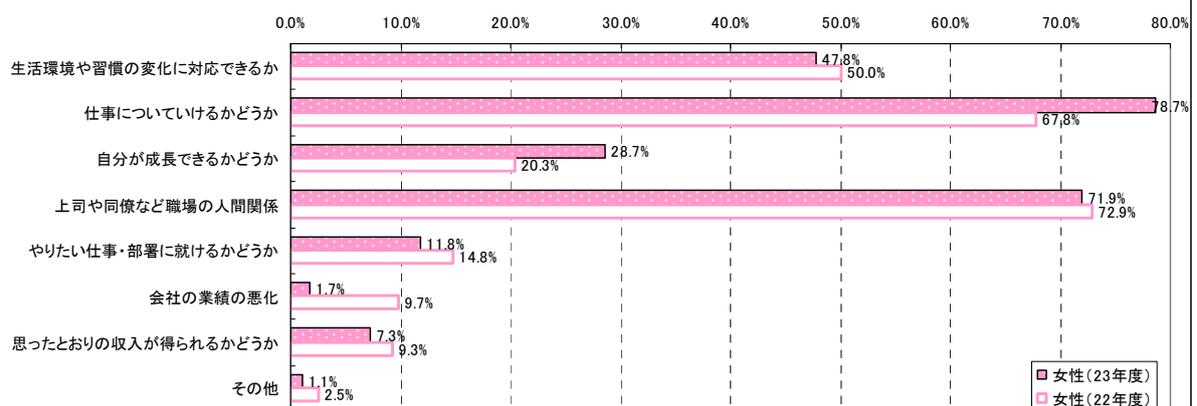
3.就職にあたり、不安に感じていることは？〈複数回答可 3つまで〉 全体

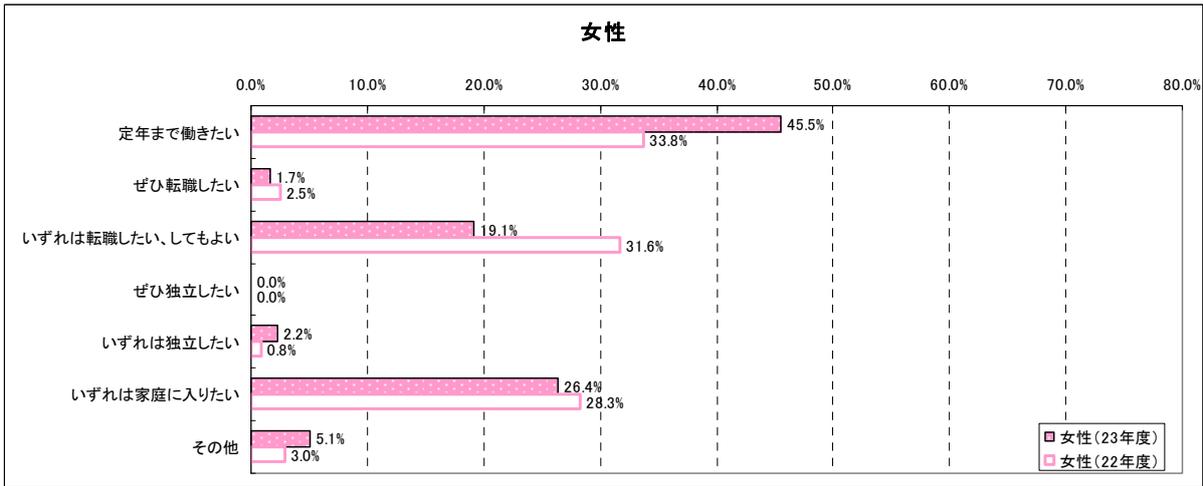
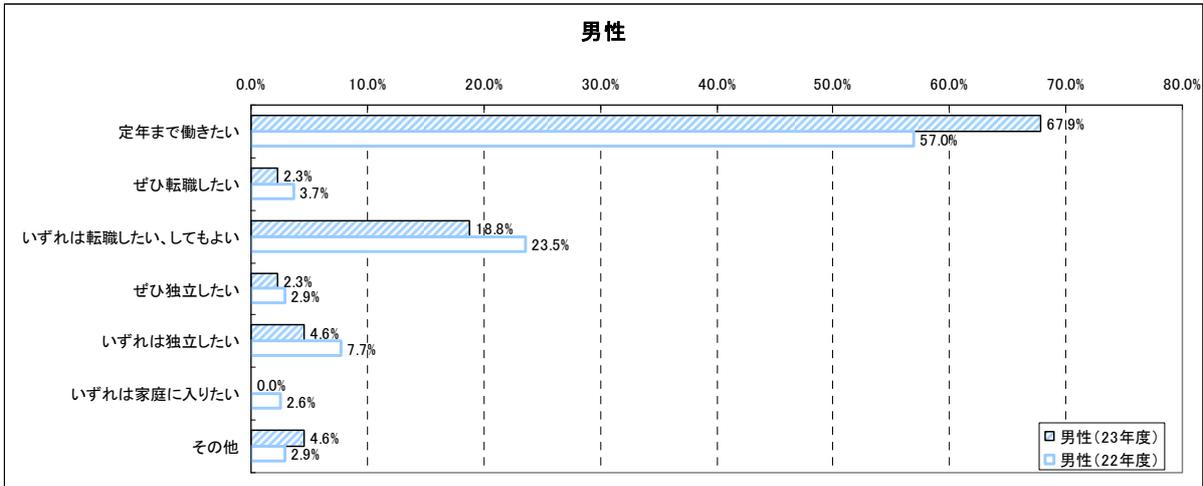
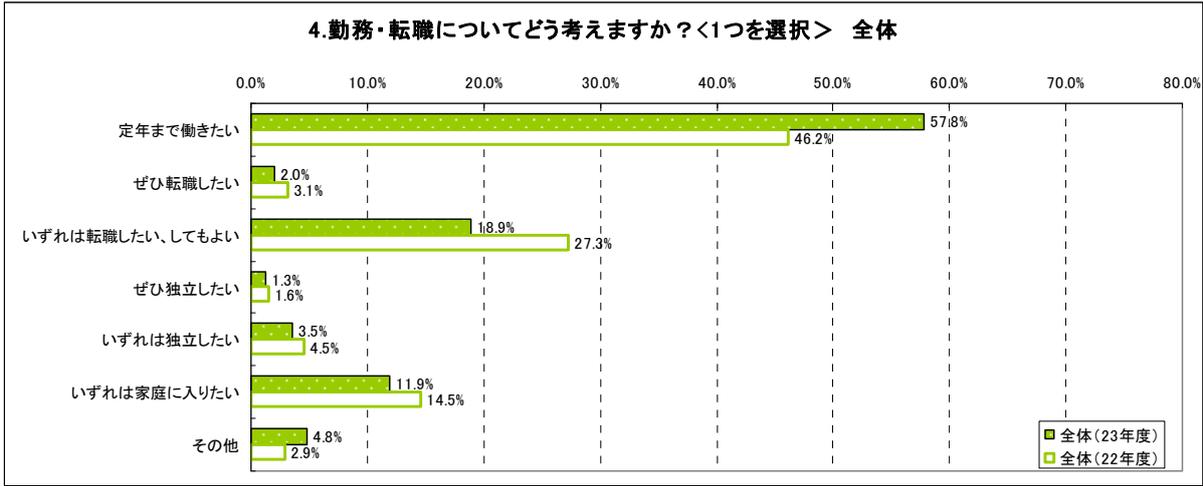


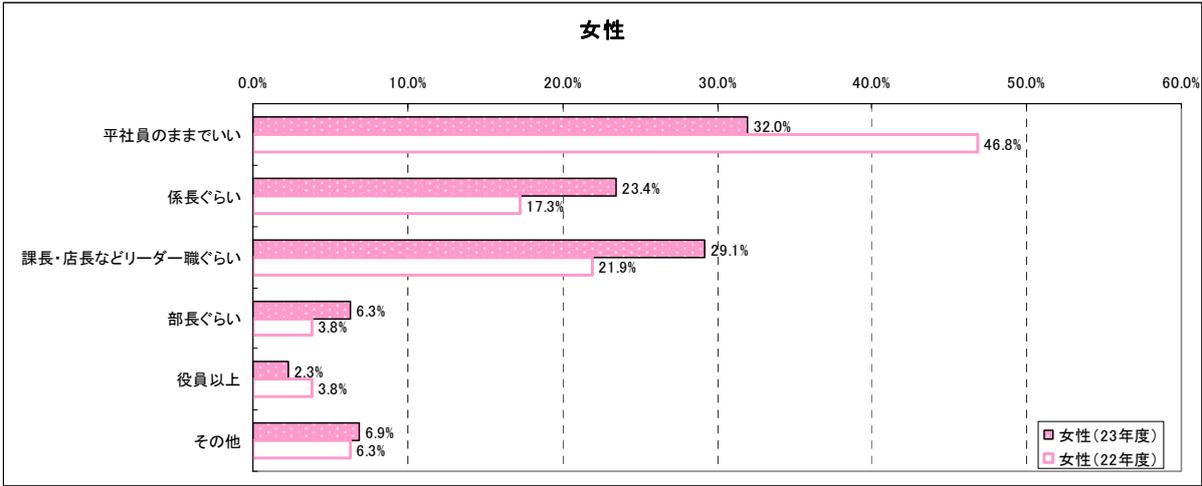
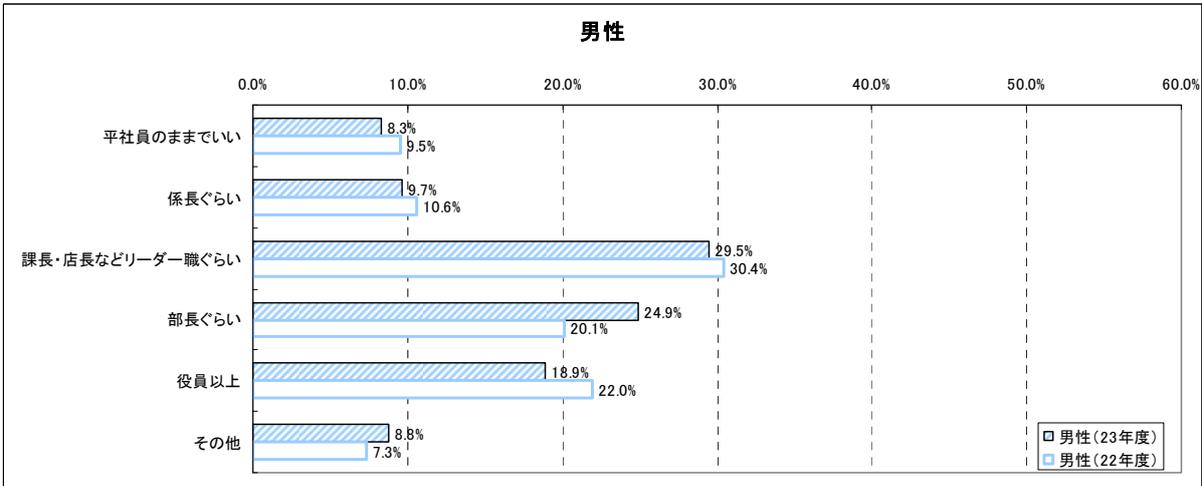
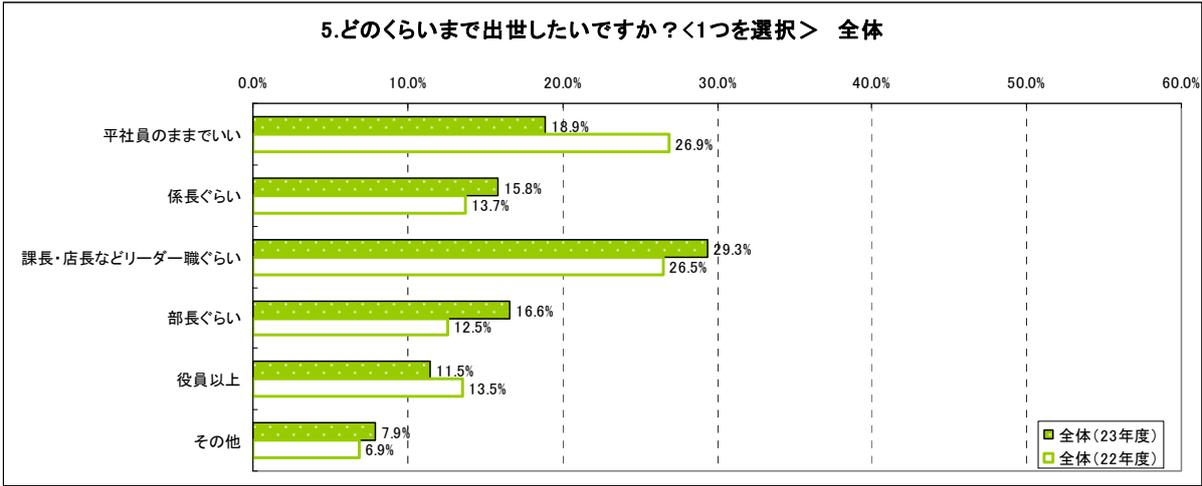
男性

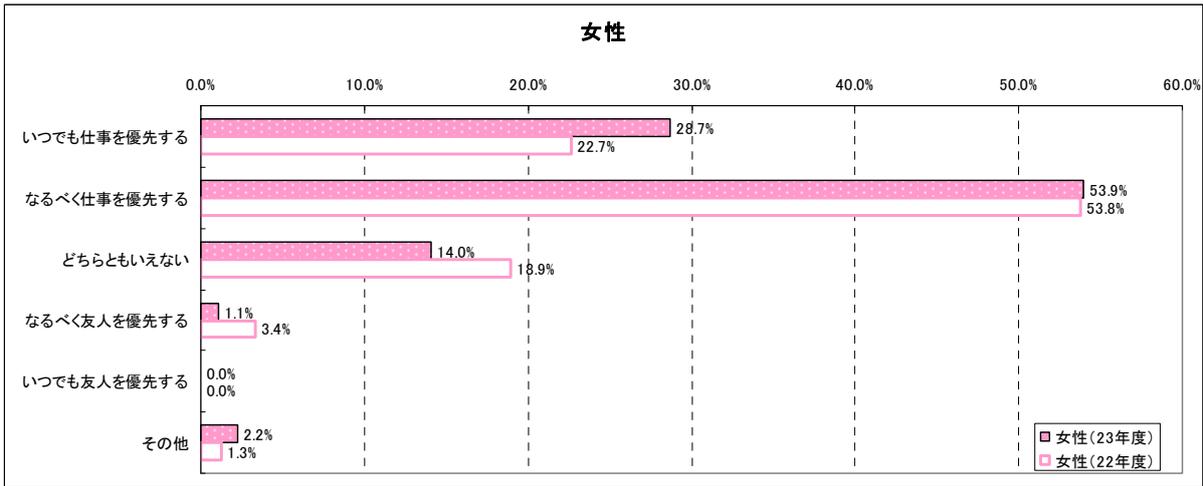
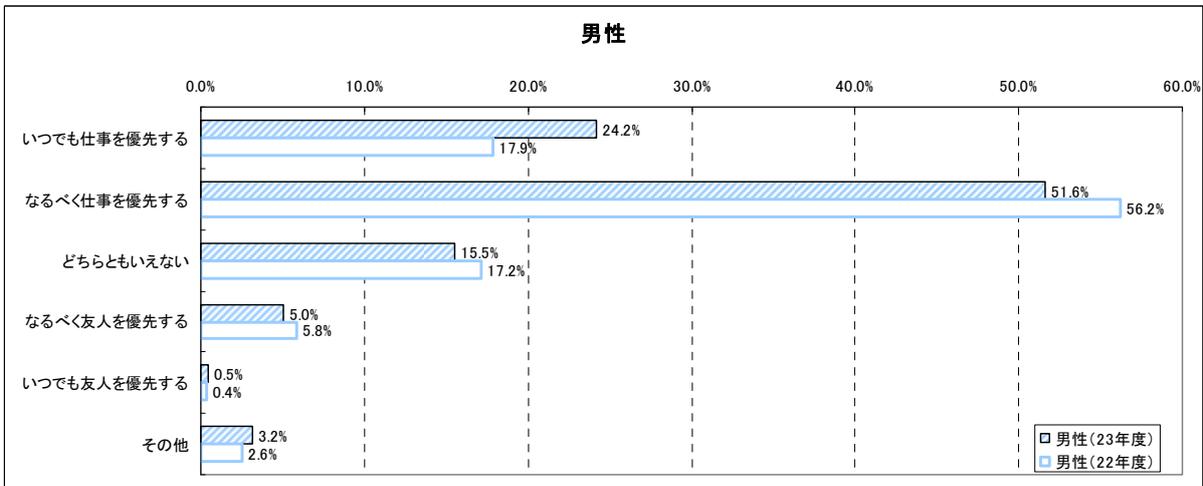
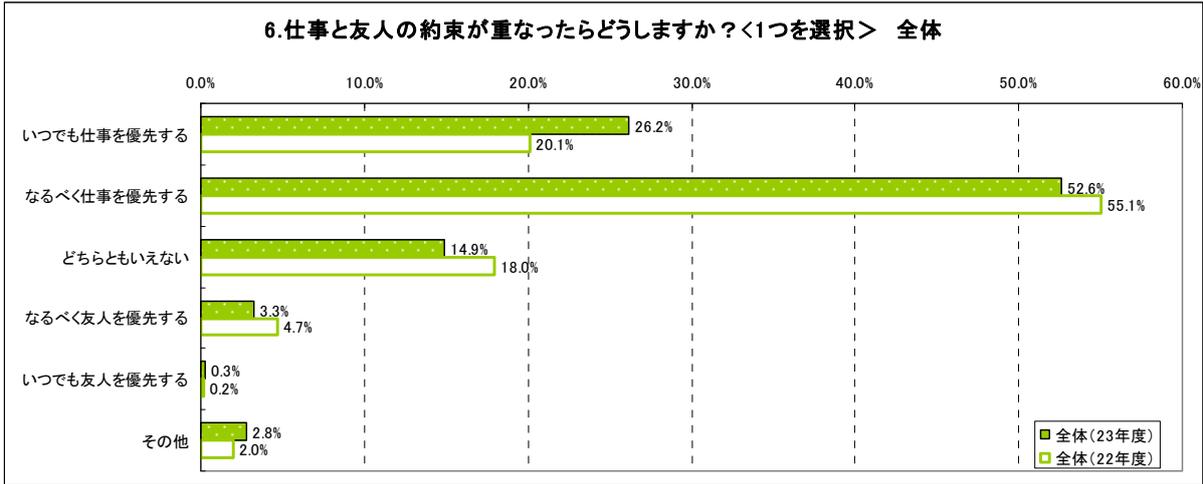


女性









7.あなたが今、興味あるもの、関心の高いものは何ですか？〈複数回答可 3つまで〉

